

企画展 石見特別版

## 永田コレクションの全貌公開 〈一章〉北斎―「春朗期」・「宗理期」編

【会期】2023年12月23日（土）～2024年2月12日（月・振休）※会期中に大幅な展示替えがあります

前期：12月23日（土）～1月15日（月） 後期：1月17日（水）～2月12日（月・振休）

【会場】島根県立石見美術館 展示室D

北斎に関する個人コレクションとしては世界屈指の質と量を誇る、「永田コレクション」  
その中から、「春朗期」と「宗理期」と呼ばれる若き日の北斎を紹介

2017年度、島根県津和野町出身の北斎研究者・永田生慈氏（1951-2018）より、北斎とその門人の作品・資料2,398件が島根県へ寄贈されました。この「永田コレクション」は、北斎に関する個人コレクションとしては世界屈指の規模を誇ると共に、北斎研究上、極めて貴重な作品や資料の宝庫であり、島根県立美術館（松江市）と当館では、複数回の展覧会を通じて、その全貌を公開する予定です。本展はその〈一章〉として、北斎が浮世絵界にデビューした20歳から45歳頃（数え年）まで、主に用いていた画号から「春朗期」・「宗理期」とよばれる、若き日の北斎に焦点を当てます。

北斎の生涯の中でもこの両期は、現存数や資料が少なく、謎多き時期とされていますが、永田氏は当該期の作品博搜に努め、春朗期では約90点、宗理期では約340点もの作品を蒐集。それらの研究を通して、北斎の知られざる様々な側面を明らかにされました。

本展では、そんな蒐集と研究が一体化した「永田コレクション」より、春朗期と宗理期の作品約280点を公開します。特に、極めて稀少な春朗期の肉筆画、宗理期における第一級の摺物群「津和野藩伝来摺物」は必見です。北斎の春朗期・宗理期だけに焦点を当てる貴重な本展は、永田コレクションが県外不出のコレクションのため、島根県でしか見ることができません。



《春朗期》《婦女風俗図》【通期】※掲載作品は全て島根県立美術館蔵（永田コレクション）



### 記念講演会

講師：日野原健司（太田記念美術館 主席学芸員）  
日時：1月28日（日）14:00～15:30  
会場：グラントワ講義室  
※先着40名／申込不要／参加無料  
※観覧券またはミュージアムパスポートが必要

### 受贈報告

永田コレクションの概要や受贈の経緯について、所蔵館の担当学芸員よりお話しします。  
講師：大森拓土（島根県立美術館 専門学芸員）  
日時：1月14日（日）14:00～15:30  
会場：グラントワ講義室  
※先着40名／申込不要／参加無料  
※観覧券またはミュージアムパスポートが必要

### ワークショップ

「北斎ステンシルでつくるハーフ手ぬぐい」  
北斎の描いたイラストで、オリジナルの手ぬぐいを作ります。  
日時：1月20・21日（土・日）  
各日①10:00 ②11:00 ③13:30 ④14:30 ⑤15:30  
（各回約30分程度）  
会場：グラントワ講義室  
※定員：各回10名／要申込／参加無料

### ギャラリートーク

学芸員による作品解説  
日時：1月8日（月・祝）、1月20（土）、2月3日（土）、2月11日（日）各日14:00～  
※申込不要／参加無料  
※観覧券またはミュージアムパスポートが必要

### みるみると北斎をみる

対話型鑑賞を研究・普及するグループ「みるみるの会」のメンバーと一緒におしゃべりしながら北斎の作品をみてみましょう。  
日時：1月13日（土）、1月27日（土）  
各日14:00～  
会場：グラントワ講義室  
※申込不要／参加無料  
※観覧券またはミュージアムパスポートが必要

### 前期も後期も見てもらおう！

本展は前期と後期で約9割の作品を入れ替えます。前期と後期の両方を見た方へ「永田コレクションオリジナルグッズ」をプレゼントします。  
【プレゼント期間】  
2024年1月17日～2月12日（後期）

### 春朗期―多彩な習作期

数え20～35歳頃



《春朗期》《鍾馗図》【通期】



《春朗期》《花くらへ 弥生の雛形》【半期】

### 宗理期―摺物・狂歌本の世界へ

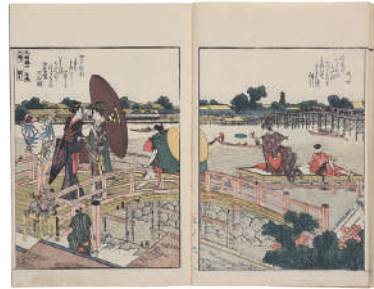
数え35～45歳頃



《宗理期》《曙艸（吉野山花見）【津和野藩伝来摺物】》  
※津和野藩伝来摺物は約2週間ごとに展示替え



《宗理期》《亀》【半期】



《宗理期》『絵本隅田川 兩岸一覧』【ページ替え】

本展は、2023年2月から3月に島根県立美術館で開催された展覧会を引き継ぎつつ、石見独自の内容も盛り込み、「石見特別版」として開催します！

「石見特別版」  
みどころ



『逢身八契画帖』【通期】



《富嶽三十六景 凱風快晴》【前期】



《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》【後期】

### ① 松江からの巡回展？

―いいえ！石見独自のラインナップです！―

島根県立美術館（松江）では展示されなかった当館だけの出品作が多数！  
展示構成も石見オリジナルですよ！

### ② 初公開！新出の肉筆春画『逢身八契画帖』

永田生慈氏が生前「春朗期の特徴が顕著」と書き記していた、全8図から成る春画の画帖（アルバム）。緻密な筆づかいと鮮麗な色彩をのこす肉筆画で、本展で初公開します。

### ③ 《富嶽三十六景》など北斎生涯の代表作も！

展示室の最後では『北斎漫画』、《富嶽三十六景》、最晩年の肉筆画など、北斎生涯の代表作も堪能いただけます！

【開館時間】9:30～18:00（展示室への入場は17:30まで） 【休館日】毎週火曜日、12月28日（木）～1月2日（火）  
【主催】島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、山陰中央新報社、BSS山陰放送  
【特別協力】島根県立美術館 【後援】芸術文化とふれあう協議会  
【問い合わせ】〒698-0022 島根県益田市有明町5-15島根県芸術文化センター「グラントワ」内 島根県立石見美術館  
TEL:0856-31-1860 FAX:0856-31-1884 e-mail:zaidan@grandtoit.jp https://www.grandtoit.jp  
担当：角野（すみの／学芸）、廣田（ひろた／学芸）、中川（なかがわ／広報）、田原（たばら／広報）